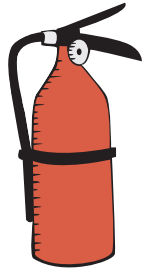




のれん Q & A ? ?

Q.1 法律上、のれんには防災加工が必要なのですか？

A.1 建築基準法、消防法の法令により義務付けられてはいませんので、現場のある所轄の消防署の判断によります。一般的に、不特定多数の人が出入りされる、ホテルや飲食店、病院、老建施設などの防災防火対象物では、防災加工品の使用を義務づけられるケースが多いようです。最近では、元々防災加工をしていない現場に消防署が特別査察に来られ、「防災加工をするよう指導される」というお話もよく聞きます。大切なお客様の為に、念の為に防災加工をされる事をお薦め致します。



Q.2 のれん棒は取り扱いされていますか？

A.2 弊社では現在取り扱っておりません。

のれん棒は、材質も木や竹、スチール、プラスチックと多岐に及びますし、送料など价格的な面においても、お客様にメリットができませんので、お近くのホームセンターなどでお買い求め頂くようお願いしております。

Q.3 別注のれんを作る時の色の指示はどうすればいい？

A.3 D1Cカラーガイド（大日本インキ化学工業が出版する色見本帳）や日塗工（日本塗料工業会発行の色見本帳）など、色見本の色番号でご指示頂くのが一番です。

上記のようなものが無い場合、現物のれんや、紙・布・各種印刷物など、色が判るサンプルを送付頂くか、弊社の色あそびシリーズから「〇〇色」とご指示頂いても製作出来ます。

同じ色で染色・プリントしても、土台の生地によって見え方が変わる場合もございますので、担当者にご相談下さい。

Q.4 別注のれんのロゴや文字データはどういった形で送ればいいですか？

A.4 イラストレーター（文字はアウトラインに変換したもの）のデータや JPEG などの画像データを頂ければ製作出来ます。

上記のデータが無い場合は、現物のれんをお借りしたり、名刺や割り箸の袋などロゴが印刷されたものを持って頂ければ製作出来る場合もございます。

この場合、別途データ加工代が発生する事もございますので、担当者にご相談下さい。

Q.5 綿・麻どちらの生地がのれんに適していますか？

A.5 一般的には綿の方がメンテナンス性は良いと言われます。

麻生地は吊った所の環境（温度・湿度・空調等）により、裾や耳が反ったりすることもあります。むしろその素朴感や透け感・清涼感といった風合いを好まれて、お選び頂いていることが多いようです。

綿・麻どちらの生地も、洗濯などの基本的なメンテナンスは簡単に出来ますので、お好みでお選び下さい。

又、綿・麻生地のベースとなるは生地には、スタンダードなもの以外にも、色々な種類をご用意しております。担当者にご相談頂きましたら、イメージに合わせてご提案させていただきます。

Q.6 遮光（透けない）のれんはありますか？

A.6 遮光のれんで特にご希望の多いケースは、厨房出入口と客席の間に吊るのれんです。これは照明の明るさの違いにより、どうしても厨房の中が丸見えになってしまうことを防ぐためです。

一般的には、綿や麻ののれんを2枚重ねて（二重仕立）見えにくくする事により対応しております。

ただ、上記の方法では、環境によっては完全に見えなくすることは出来ません。

完全に見えないようにしたい場合、遮光カーテン生地などを使用してのれんに製作することも出来ます。

Q.7 本染めとプリントののれんどちらの方が安いですか？

A.7 素材・サイズ・色数にもよりますが、一般的にはプリントの方がお安くなります。

プリントは、のれんの片面（表面のみで裏面は無地）しかプリントされませんが、ロゴ等のプリント面積が小さい場合や、製作枚数が多い場合は、かなりお安くなることもございます。無料でお見積もり致しますので、担当者にご相談下さい。

本染めは、裏面まで鏡映して染め色が通りますので、仕上がりが非常に高級感のあるものとなります。

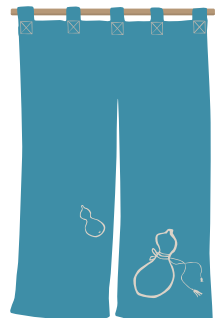
ご予算や仕上がり具合などから、お好みでお選び下さい。

Q.8 のれん棒を入れる袋の高さは何cmですか？

A.8 弊社のカatalogに掲載されております、既成品ののれんの袋は全て 5 cmで作っております。

理論上直径 2.8 cm迄の棒を通すことが出来ます。

別注で作られる場合は、ご使用されるのれん棒の直径をお教え頂ければ、そのサイズに合わせた袋の高さで縫製致します。



Q.9 納期が無いのですが、別注のれんは製作出来ますか？

A.9 まずはご連絡下さい。出来るだけお役に立てるように全力を尽くします。

プリントパターンの方が本染めと比較すると納期は早く上がります。

諸条件やタイミングによっては最短 1 週間以内で製作出来る場合もございます。